

科目名称	公衆衛生看護学実習
授業コード	BK408
英語名称	Public health nursing Practice
学期	2024年度前期
単位	5.0
担当教員	糸井 和佳, 本田 順子, 高木 悦子
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	<p>本実習は、公衆衛生看護概論、公衆衛生看護方法論、公衆衛生看護方法論、公衆衛生看護方法論、公衆衛生看護演習、公衆衛生看護演習 および保健医療福祉行政論の学習をもとに、地域で生活する個人・家族・集団・組織を対象とした健康課題を分析し、課題解決に向けた公衆衛生看護活動を展開する基礎的能力を養う。</p> <p>保健所・保健センター、学校保健、産業保健の実習施設において、5週間の実習を行い、保健師の実践能力を養う。詳細は、公衆衛生看護学実習要項を参照</p>
科目に関連する実務経験と授業への活用	<p>保健師、看護師経験のある教員（糸井和佳、高木悦子、本田順子）が、その経験をもとに、実習指導者とともに実習指導を行う。</p>
到達目標	<p>この科目は、ディプロマポリシーの「科学的な根拠に基づき、対象者の健康と生活の質を高める看護を実践するための論理的思考力、基本的な問題解決能力の修得」の該当科目であり、カリキュラムポリシーの「地域の健康課題の解決のための個人・家族・集団・地域への継続的支援ならびに住民のニーズを施策化できる保健師教育」に該当する。</p> <p>また、専門科目（専門分野）、「看護の実践」のひとつである。</p> <p>到達目標を達成するために、下記の具体的目標を掲げた。</p> <ol style="list-style-type: none"> 保健所・保健センター実習 <ol style="list-style-type: none"> 地域の健康状態をアセスメントし、地域で生活する人々の顕在化、潜在化しているニーズや健康課題を明らかにすることができる。 健康課題を解決するために、保健事業を企画・立案、実施、評価する過程を理解することができる。 個人・家族・集団・組織を含む地域の健康課題を解決する手法（家庭訪問、健康教育、健康診査、健康相談、地区組織活動等）を理解する。 事業化・施策化に必要な根拠とプロセスを理解する。 社会資源の開発や地域ケアシステムを構築するための方法を理解する。 健康危機に対する組織的な管理やシステム構築の必要性について理解する。 保健・医療・福祉および社会に関する知識と技術を主体的・継続的に学び、保健活動の質を向上させるための方策を考える。 学校保健実習 <ol style="list-style-type: none"> 学校教育および学校組織を理解する。 児童の発達課題に応じた健康課題を理解する。 保健管理や健康課題解決のための方法を理解する。 養護教諭の役割を理解する。 産業保健実習 <ol style="list-style-type: none"> 産業保健活動の目的と組織を理解する。 労働衛生管理を理解する。 健康課題と労働・職場特性と関連付けて考える。 産業看護職の役割を理解する。

到達目標	
計画・内容	<p>・実習単位：5単位 5週間 保健所・保健センター実習4週間、学校保健実習2.5日、産業保健実習1日</p> <p>・実習期間：2024年6月～7月 実習要項参照</p> <p>・実習時間：原則として、8時30分～17時30分 実習要項参照</p> <p>・実習施設： 【保健所・保健センター実習】 足立区、葛飾区、台東区、杉並区、目黒区 担当教員：系井和佳（保健師）、高木悦子（保健師）、本田順子（保健師） 音喜多久枝（保健師）非常勤実習指導教員</p> <p>【学校保健実習】 足立区内小学校 担当教員：系井和佳（保健師）、高木悦子（保健師）、本田順子（保健師）</p> <p>【産業保健実習】 内田洋行健康保険組合 コクヨマーケティング株式会社コーポレート本部人事部 セキスイハイム工業(株)東京事業所健康相談室 日鉄ソリューションズ株式会社 大東建託株式会社</p> <p>担当教員：系井和佳（保健師）、高木悦子（保健師）、本田順子（保健師）</p>
授業の進め方	実習要項および各実習施設の実習予定表に基づき、進めてゆくが、実習オリエンテーションにて詳細を説明する。
能動的な学びの実施	5週間の実習であり、学生の行動すべては能動的な学びが必須である。実習中に住民に対して行われる健康教育は、能動的な学びを強く期待される。
授業時間外の学修	実習中に学んだことの理解を深めるために、毎日の学修は必須である。実習予定表に基づき、必要な内容を各自で予習し、終了後は復習を求める。 実習外学修時間：5週間実習期間中に100時間程度
教科書・参考書	特になし 今までの関連科目の教科書、参考書、授業プリントを活用する
成績評価方法と基準	評価は実習終了後に行う。 実習要項に準じ、実習記録（50%）、実習最終レポート（30%）実習に対する主体性・積極性（20%）等により、総合的に評価する。
課題等に対するフィードバック	実習期間中は、随時、指導を行い、学生からの質問に対しても随時、対応する 中間カンファレンス（複数回）、最終カンファレンスにおいて、フィードバックを行う。
オフィスアワー	CampusSquareを参照
留意事項	保健師教育課程の学生は必須であるが、保健師教育課程以外の学生は履修できないので、留意すること。
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評	<p>実習の進め方</p> <p>・実習日程については、実習施設と協議の結果、詳細を決めていく。</p> <p>・施設実習日数に変更があった場合は、ZOOMによる演習や動画配信等により学内実習で補完する。</p>

評価方法と基準」	成績評価 ・演習態度（20％）、演習課題レポート（80％）で評価する。
----------	--